

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
医学総論 I	1年次	必修	講義	2単位（60時間）	相田 武則 ※
授 業 概 要					
呼吸器疾患、循環器疾患、腎・泌尿器疾患の病態と治療について、医療者として理解しておかなければならない基本的な事項について学習する。					
到 達 目 標					
1) 呼吸器疾患の症状を列挙できる。 2) 呼吸器疾患の病態の概要を説明できる。 3) 循環器疾患の症状を列挙できる。 4) 循環器疾患の病態の概要を説明できる。 5) 腎・泌尿器疾患の症状を列挙できる。 6) 腎・泌尿器疾患の病態の概要を説明できる。					
回	学 習 内 容				担当教員
1～2	呼吸器疾患概要	呼吸器系疾患、腎泌尿器系疾患、消化器系疾患概要			鬼頭 隆尚 ※
3～4	呼吸器疾患(1)	感染症 ウイルス、クラミジア、細菌			〃
5～6	呼吸器疾患(2)	感染症 好酸菌、日和見感染			〃
7～8	呼吸器疾患(3)	アレルギー性疾患、肺線維症、肺血栓塞栓症			片桐 真人 ※
9～10	呼吸器疾患(4)	肺癌、肺腫瘍、呼吸不全			〃
11～12	呼吸器疾患(5)	呼吸器系感染症、拘束性肺疾患、呼吸不全			〃
13～14	代謝疾患概要	腎・泌尿器疾患概要			吉田 一成 ※
15～16	代謝系疾患(1)	尿細管の機能、腎・泌尿器疾患、糸球体疾患			〃
17	代謝系疾患(2)	代謝系 腎臓の疾患			〃
18	代謝系疾患(3)	尿路疾患、内分泌疾患、神経筋肉疾患 その他			〃
19～20	環器疾患概要	循環器系疾患、血液疾患概要			相田 武則 ※
21～23	循環器疾患(1)	先天性心疾患(1)、先天性心疾患(2)			〃
24～26	循環器疾患(2)	後天性心疾患、虚血性心疾患			〃
27～28	循環器疾患(3)	不整脈、静脈疾患、リンパ管疾患			〃
29～30	循環器疾患(4)	ペースメーカー、心臓カテーテル、人工心肺			
学 習 方 法					
呼吸器系、循環器系、腎・泌尿器系疾患の概念や病態の基礎的な知識を理解し、臨床工学の計測装置学、生体機能代行技術学と関連づけて学習する。					
評 価 方 法					
学科試験により評価する。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔教科書〕 臨床工学技士標準テキスト第3版増補 小野哲章 他 金原出版 配布資料					